

未来を見据えて地層処分を考える

## シン・ちか通信

Vol.11 特別号 発行：原子力発電環境整備機構 (NUMO)



## TOPICS 1 理事長新年あいさつ

明けましておめでとうございます。2025年を迎え、皆さまが健康で幸せな一年を過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

2024年は私たちにとって意義ある一年となりました。6月に佐賀県玄海町において文献調査が始まったことは、高レベル放射性廃棄物の最終処分事業への関心が全国的に高まるという意味で大きな一歩です。心より皆さまに感謝申し上げます。今後とも、地域の方々のご理解とご協力をいただきつつ、地に足のついた活動を進めてまいります。

11月には、2020年11月以来4年間にわたって実施してきました北海道寿都町と神恵内村での文献調査の報告書を、北海道知

事、寿都町長、神恵内村長に直接お届けしました。「初の文献調査地点」として全国の関心を集める中、文献調査を受け入れていただいた地域の皆さまには敬意を表します。安全な最終処分事業の実現に向けて、引き続き丁寧な説明に努める所存です。

昨年の本誌新年号では、新たな地域での文献調査開始、文献調査報告書の取りまとめと説明、技術力向上の取り組みを行うとお約束いたしましたところ、関係各位のご支援により、期待通りに成果をあげることができました。ただし、技術力につきましては、社会から信頼をいただくことが何より大切です。そのために、地層処分事業を安全に実現するため



原子力発電環境整備機構  
理事長

山口 彰

の技術開発成果を広く発信するとともに、最新知見を適切に反映した技術完成度のさらなる向上に弛まぬ努力を続けてまいります。高レベル放射性廃棄物の最終処分は、原子力を持続的に活用するとした私たちの社会にとって、避けて通れない国民的課題です。その実現のためには皆さまのご理解とご協力をいただくことが極めて重要です。皆さまのご理解とご協力をいただきつつ地域との対話を重ね、北海道の2町村にて次の段階の調査へ具体的な進展が実現されるよう一層努力を重ねてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## TOPICS 2 北海道寿都町、神恵内村における文献調査報告書を提出いたしました

昨年11月22日、北海道寿都町と神恵内村での文献調査に関する報告書を寿都町、神恵内村、北海道に提出いたしました。

寿都町の片岡春雄町長からは「地層処分をめぐる議論の輪が全国に広がることを期待して

いる」、神恵内村の高橋昌幸村長からは「丁寧で分かりやすい説明と情報提供に努めてほしい」などのコメントをいただきました。

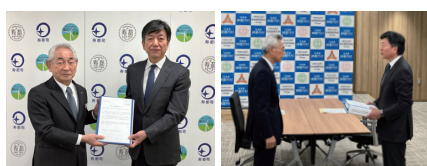
鈴木直道知事からは、概要調査に移行する場合は道の条例<sup>※</sup>を踏まえ現時点では反対するとのお考えとともに、「国民的な議論が必要。全国、特に若い世代にも最終処分事業の理解が促進されるよう取り組みを進めてほしい」とのご要望をいただきました。これに対しNUMO理事長の山口は、「地域の皆さまに調査で分かったことを丁寧にお伝えするとともに、全国的に最終処分事業への理解が深まるよう全力を尽くす」と決意を示しました。



2町村の報告書を手にする鈴木知事と山口理事長(左)(北海道庁にて)



鈴木知事から要望を承る山口理事長(奥中央)ら(北海道庁にて)



左：片岡町長へ報告書を提出した山口理事長(右)(寿都町役場にて)

右：青塚副村長へ報告書を手渡す山口理事長(右)(神恵内村役場にて)

※北海道における特定放射性廃棄物に関する条例。「特定放射性廃棄物の持込みは慎重に対処すべきであり、受け入れ難い」ことなどが定められている。

# 3 TOPICS

## 文献調査報告書の 縦覧・説明会を実施中

北海道寿都町と神恵内村における文献調査報告書について、昨年11月22日より寿都町、神恵内村両役場、北海道庁、NUMO 寿都・神恵内交流センター、札幌事務所のほか、北海道内の総合振興局などで縦覧を開始しています。報告書一式はNUMO ホームページでもご覧いただけます。

また、11月30日より順次、寿都町、神恵内村、総合振興局および振興局所在自治体や、北海道内でご希望いただいた自治体などで説明会を開催しています。

説明会では、「地層処分場は一か所で足りるのか」や、「地元自治体の首長と知事の意見が異なった場合はどうするのか」などについてご質問いただきました。

今後も、地域の皆さまに最終処分事業のことや、寿都町および神恵内村の文献調査で分かったことについて、丁寧に伝えたいと思います。



説明会の様子(寿都町)



説明会の様子(神恵内村)



神恵内村の立体模型に調査結果をわかりやすく投影したものをを用いて説明



会場内の展示物(札幌市)

もっと詳しく!

報告書一式や各説明会の詳細などについては、こちらからご覧ください。



# 4 TOPICS

## 地層処分の 国民的議論に向けて

北海道寿都町と神恵内村における文献調査報告書の公表を受け、北海道の状況を含めて全国の皆さまに地層処分事業について関心を持っていただき、社会全体の課題として議論の輪が広がるよう、様々な広報活動を展開中です。

### 対話型全国説明会・シンポジウム

全国各地で実施している対話型全国説明会を大阪市や名古屋市、中央区(東京都)など大都市で開催の上、地層処分の仕組みなどとともに北海道の状況をご説明しています。参加者から「北海道の調査地点で行われている対話の場では、どのような議論がされているのか知りたい」「電気を使う私たち一人一人が考えていかなければいけない問題だと思った」といったご意見や感想をいただきました。

また、今年2月には東京で「あなたと一緒に地層処分を考えるシンポジウム2025」を開催予定です。ぜひご参加ください。



大阪会場の様子(12月19日)

### 説明会開催日程

日程		会場
2月	13日(木)	広島県広島市
	20日(木)	島根県大田市
3月	6日(木)	岐阜県大垣市
	13日(木)	愛媛県松山市

### シンポジウム開催日時

#### あなたと一緒に地層処分を考えるシンポジウム2025

2025年2月7日(金)

時間: 18:00~20:00

場所: 東商渋谷ホール

参加費: 無料

シンポジウムの詳細はトピックス6をご覧ください。

もっと詳しく!

各説明会の詳細など、公告・縦覧期間中の広報活動の詳細については、こちらからご覧ください。





イベントへの出席

●SDGs Week EXPO 2024 エコプロ2024

昨年、12月4日～6日で東京ビッグサイト(東京都江東区)にて開催された国内最大級の環境イベント『SDGs Week EXPO 2024 エコプロ2024』に出展し、約4,000名の方にご来場いただきました。今年度は展示ブースを研究所、来場者をその研究員に見立て、「触れる」「見る」「聞く」展示を通して、地層処分

の安全性や必要性、地層処分とSDGsの関わりを調査して学んでいく、というテーマで構成しました。また、北海道寿都町と神恵内村の文献調査報告書が縦覧中であることを踏まえ、文献調査報告書の概要や北海道の状況についてご覧いただけるコーナーも設置しました。来場者からは、「北海道だけの問題ではなく全員で考えるべき問題だと思った」や「大都市の人たちが地域のことをもっと知ることが大切だと思った」などのご感想をいただきました。



左上:多くの方にご来場いただきました  
右上:文献調査の結果概要についてもご説明させていただきました  
左:「グーモ」今年も登場!



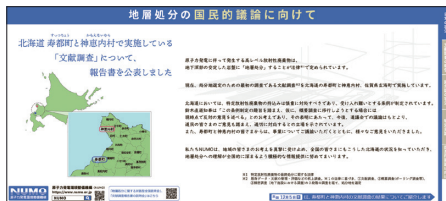
もっと詳しく!  
エコプロ出展報告



メディア広報展開

●シリーズ新聞広告(全国紙・ブロック紙・立地県紙(計20紙)12月3日～17日)

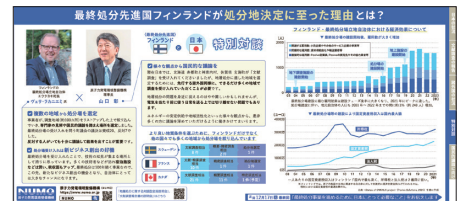
第1回



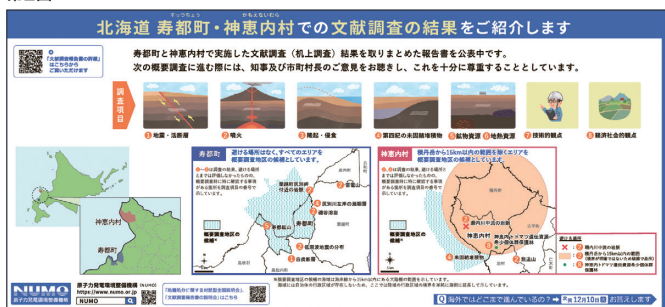
第3回



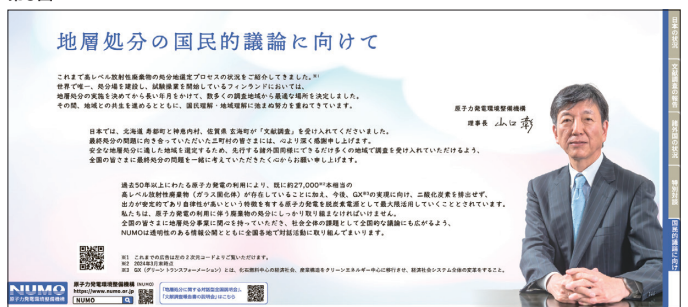
第4回



第2回



第5回



●トレインチャンネル

(JR東日本・JR西日本・JR九州の各路線車内 12月2日～15日)



●デジタルサイネージ

(首都圏主要駅 12月2日～15日)



# TOPICS 5 北海道内でも広告を展開!

全国での広報活動に加え、JR北海道と札幌市営地下鉄の電車内の中吊り広告や、札幌駅と新千歳空港でのデジタルサイネージ広告など、北海道内でも広報活動を実施しました。



2月には北海道文化放送にてテレビCMも放映予定ですので、ぜひご覧ください。

左:電車内中吊り広告(JR北海道 12月3日~6日)  
右:デジタルサイネージ(新千歳空港 1月6日~19日)

# TOPICS 6 「あなたと一緒に地層処分を考えるシンポジウム2025」を開催!

今年2月7日、東京都内の東商渋谷ホールにてシンポジウムを開催します。日本郵政株式会社の増田寛也社長の基調講演に加え、寿都町の片岡春雄町長やクリエイティブディレクターの辻愛沙子さんなどが「地層処分事業を進めるために必要なことは？」をテーマにパネルディスカッションを行います。



当日は、YouTubeにてライブ配信も行います。ぜひご参加ください。



もっと詳しく! シンポジウム特設サイト 

# TOPICS 7 ゲームを通じて「地層処分」を自分事に!

マイナビニュースのX(旧Twitter)番組『竹山家のお茶の間で団らん』でタイアップ番組が1月15日より公開中です。今回も、「竹山家」メンバーの坎ニング竹山さんと篠田麻里子さんを司会に、NUMOのWeb CMに登場いただいているてい先生、新沼凜空さん、栗栖あに華さん、宝持沙那さんが出演。関西学院大学社会学部の野波寛教授をゲストに、同教授が考案した『誰がなぜゲーム』を通じて、地層処分に関する合意形成を実践し、議論のポイントなどを紹介しています。ぜひご覧ください。



もっと詳しく! 竹山家のお茶の間で団らん 第6弾 ゲーム形式で「合意形成」について学ぼう! 